

紫波総合高校同窓会報

第41号

発行 令和五年二月二十五日

岩手県立紫波総合高等学校同窓会事務局



ごあいさつ

同窓会会長 佐々木 順 一 高二十二(昭四十五卒)

会員の皆さまにおかれましては、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より同窓会活動と母校支援にご協力とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

私は昨年七月に村松前会長の後任として同窓会長に就任いたしました。村松前会長には平成二十二年七月から長きにわたり同窓会運営の要としてご活躍いただいたばかりでなく、創立八十周年記念事業・創立九十周年記念事業にも多大なるご尽力をいただきました。ここ三年は世界中を一変させた新型コロナウイルス感染症の影響により、創立九十周年記念事業をはじめ同窓会の活動が制限され、心残りがあつたのではないかと拝察いたします。

さて、私の高校時代を顧みますと、昭和四十四年、二年生の時に生徒会長の任に就きました。立候補するにあたり、ある公約を掲げました。当時の男子生徒は全員坊主頭で、それを変えたいというのが生徒たちの希望でした。そこで、「長髪をOKにする」という公約を掲げ、生徒会長となりました。公約を実現させるために、生徒会と先生方との話し合いを幾度も行い、とうとう昭和四十六年二月、第13代鈴木宏策校長から「来年度(昭和四十六年四月)から長髪を認める」とのお話をいただきました。卒業後の実現でしたが、立候補時の公約を果たすことができ、安堵すると同時に、改めて身の引き締まる思いだったことを今でも鮮明に覚えております。当時は、自分が卒業する前になんとかしなければと必死だったのだと思います。

今年度の学校の様子に移しますと、部活動では、自転車競技部二年の藤澤勇聡君が第七十七回国民体育大会いちご一会とちぎ大会で少年スクラッチ六位入賞という輝かしい成績を残しました。来年度も活躍が期待されます。また、修学旅行などコロナ禍で開催できなかった行事も再開し、少しずつコロナ禍前の様子に戻ってきていると聞いています。

我が母校は創立百周年に向けて、着々と歩みを進めています。今後とも皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます、あいさつといたします。

■10月17日(月) 国立天文台水沢観測所 本間希樹所長特別講演「なぜこの仕事に就いたのか？」
多くの生徒からの宇宙ブラックホールについての質問や人生についての質問に対しわかりやすく本間先生が答えてくださいました。





充実した2年間でした、
お世話になりました。

校長 谷 藤 節 雄

会員の皆様方には、本校の教育活動にご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。私にとつてあつという間の二年間でしたが、本当にお世話になりました。

紫波総合高校は、「二〇一六年希望郷いわて国体」での選手強化という当時の仕事を通して自転車競技部の皆さんに競技を一から教わりお世話になったこと、私の母親（一九四二生）が本校の同窓生で在学時には応援団を務め、充実した高校生活の思い出をよく話していたこと。そんなことから私の教員生活の中で、「いつか紫波総合高校に勤務できないかな」と思うようになりました。その願いが令和三年、定年まで残り2年の年に叶った時には、強い縁を感じ喜んだことを思い出します。

同窓生の皆さんのおかげで創立九十周年に大型除雪機

と階段型の大講義室にパワフルエアコンを整備していただき、素晴らしい環境の中で各種講演会や行事等を開催することができています。そんな自慢の会場をフル活用しながら「魅力ある学校づくり」として、紫波町の特産品や地産・地消の郷土料理、伝統文化等を学ぶため、多くの同窓生や地元講師の方々に御来校いただき講義等を実施してきました。特に同窓生の講師の方々は、在校生を本当にかわいがつてくださいました。得意分野のご指導を受けながら、年齢は離れていても後輩を思うやさしさに触れ、大きな支えを感じながら母校愛も学ぶことができたのではないかと思います。

また、母校支援として部活動の普及・振興はもちろん、紫鷲祭では同窓会主催の講演会を開催していただきました。昨年度は、「命の授業」で有名な腰塚勇人先生をお迎えし、「命の尊さ」「生きていることの素晴らしさ」を学びました。今年度は、水沢の国立天文台の本間希樹先生においでいただき「ブラックホール」のお話をうかがいました。県や国の十大ニュースに挙げられるような方の講演を間近で聞くことができ、同窓会の企画力のすば

らしさに驚きました。これからも本校の財産として、同窓会と在校生の繋がりを大切にしていきたいと思っております。

私が残りの心は、熱心な活動をされている関東支部同窓会の皆さんとの交流がコロナ禍により叶わなかったことです。「関東支部創立30周年の集い」での楽しそうな写真が気になって忘れられることができません。いつか、東京で皆さんにお会いできることを楽しみにしたいと思います。

今年度の卒業生を加え同窓生は一七、〇〇〇人を超えました。卒業生をよろしくお願ひいたします。これからも同窓生のネットワークをお借りしながら、本校の魅力発信が新入生の増加につながり、紫波総合高校が益々繁栄していくことを祈っています。校舎の懸垂幕にも掲げてありますが「H30卒自転車競技部 中野慎詞選手のオリンピック出場」にも期待しています。お世話になりました、本当にありがとうございます。

2022年度事業報告

【令和4年】

- 4月 9日(土) 入学式
- 4月14日(金) 監査委員会/役員選考委員会
- 5月13日(金) 第1回同窓会運営委員会
- 7月 2日(土) 令和4年度同窓会定期総会
紫波総合高等学校 大講義室

【令和5年】

- 2月 3日(金) 第2回同窓会運営委員会
- 3月 1日(水) 同窓会入会式
- 3月 2日(水) 卒業式
- 3月26日(日) 関東支部総会

令和4年度 役員名簿

	役 職	氏 名	卒 回
1	顧 問	工藤 眞臣	高 7
2	顧 問	村松 輝夫	高14
3	顧 問	谷藤 節雄	学校長
4	会 長	佐々木順一	高22
5	副 会 長	川口 政志	高13
6	副 会 長	滝浦 重美	高18
7	副 会 長	戸塚 勤	高19
8	副 会 長	佐藤 文子	副校長
9	副 会 長	川村 信	事務長
10	監査委員	中谷地紘一	高15
11	監査委員	池田 毅	高17
12	監査委員	柏原 信孝	高24

支 部 長

	役 職	氏 名	卒 回
13	日詰支部長	堀内 憲一	高20
14	古館支部長	宮 吉太郎	高15
15	赤石支部長	高橋 吉見	高19
16	志和支部長	鷹嘴 汎使	高12
17	水分支部長	藤原 修一	高22
18	彦部支部長	森田 正毅	高12
19	佐比内支部長	佐々木銀一	高26
20	赤沢支部長	古澤 志弘	高17
21	長岡支部長	佐々木廣信	高20
22	紫波町職域支部長	松村 寿弘	高38
23	矢巾支部長	菊池 優徳	高25
24	石鳥谷支部長	似内 秀東	高14
25	盛岡支部長		
26	花巻以南支部長	似内 博	高20
27	関東支部長	吉田 行男	高13

事 務 局

1	事務局長	佐藤 貴生	総務部長
2	事務局員	猿舘 貢	職 員
3	事務局員	鎌田 大樹	職 員
4	事務局員	山影 徹	職 員
5	事務局員	吉田 拓哉	職 員
6	事務局員	千葉 志津	職 員
7	事務局員	釜石 知佳	職 員

6月 スポーツ大会 2日目



7月 高校野球応援



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
久慈工業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	3
大紫連合	0	0	0	4	4	4	3	0	0	1	8	2

TN	1	2	3	4	5	6	7	8	9
大紫連合	1	2	6	5	4	8	7	9	3
久慈工業	6	2	9	5	8	7	1	4	3

1回戦 紫波総合・大野高校連合 11：1 久慈工業
 2回戦 紫波総合・大野高校連合 1：13 盛岡一高

10月

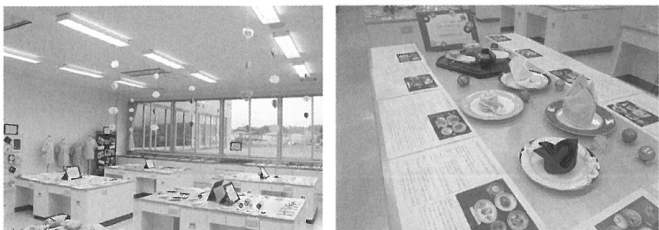
紫鷲祭 1日目 寄席講演会・演劇



紫鷲祭 2日目 2年ぶりの一般公開



ライフデザイン系列被服・お弁当作品



4月 入学式 74名入学



5月 県高校総体・壮行式



6月 スポーツ大会 1日目





青年 (成年) よ 心して社会情勢を監視せよ

古館支部長 宮 吉太郎

西暦1740年、産業革命から始まった現代資本主義社会は急激な文明の発達を遂げ、今尚、デジタル、スマホ、コンピュータ、IT、そしてパンデミック、専制主義国家の台頭、周辺は電磁波に覆われ合理化分業物質化が先走り人間の欲望が尽きない。又その反動も見逃せない。ボタン一つで人類が破滅を来す不確実の様相を呈している。

古来から人類は他の動物同様、弱肉強食、争いの歴史を辿ってきた。戦争は、部族であれ国同士が殺戮を繰り返す互いに正義を揚げ子孫を繁栄させてきた。現在の国同士の戦争は喧嘩ではない。国際裁判において戦争責任者は処罰される。

国連憲章にて、人権は、正当防衛「緊急避難」としては保護されている。昨今、ウクライナ侵攻に接し、昔の映画で伴淳三郎主演「続、三等兵物語」が蘇り過酷な軍規上下階級厳格集団と真剣に命を賭けて国を守る。

子供のころ時代劇に見る侍、新渡戸稲造の著書「武士道」のアイデンティティは当時世界を震わせた。

子供の頃戦争を体験をした父・兄は無言であった。

第二次世界大戦の学校教育も然り、総評が強く、GHQ 主導の日本憲法、所謂、ワイマール憲法として骨抜き民族と化した。而して残念に公共団体大企業に未だ封建的体質が残っている。

強い日本質的に、秩序、規律、はじめ(権利、責任、義務)の欠如が著しい。

コロナ禍、自然、地球、生命と経済安全保障と漸くSDGsやダイバーシティが顕現化

国連を基調に組織の権限を強化し、協調、調和が必要不可欠である。唯一大乘仏教(法華経)が花開いた日本。この世に生き得た目的は、楽しむ為にある。生命哲学教育が必須。

世界は日本が先頭立って世界平和に貢献切望。喫緊の対策1, シェルター 2, 公害、貧困か。未来には多くの課題が山積み、すべては、地球自然生命を守る事にある。

事務局だより

- 同窓会報に投稿いただきまして、感謝申し上げます。
- 今年度は、感染対策を行い同窓会総会が開催できました。退任された村松会長に代わり佐々木順一新会長となりました。また、副会長、監査、支部長と退任された役員の皆様をねぎらい、新しい役員にて本年度がスタートしました。講演会では、紫波警察署生活安全課伊東浩二様(昭56年卒)に「オレオレ詐欺」の現状報告と注意喚起をしていただきました。
- 今年度の卒業生には、就職先、進学先住所等を教えていただけるよう呼びかけています。本人と保護者の同意を得てからとなります。返送された同窓会事務局宛てのはがきを集約し、その住所を各支部長に通知します。
- 今後、各支部の活動が活発になっていくよう、事務局として支援していきたいと思っております。
- 同窓会事務局としても、後輩に先輩方の職場情報、あるいは、こんな会社で求人を出している。などの情報をお待ちしております。



noteはじめました！フォローお願いします！▲

同窓会支部だより



希望に寄せて絆を築きましょう。

関東支部長 吉田 行男

紫波総合高等学校同窓会関東支部の歴代支部長、幹事長、役員の方々には、紫波町ふるさと会とはしっかりと、連携しております。私も入会しておりますが、現在は時折り、近隣ふるさと会に依頼されまして、今回は、在京東和友会の集いに、お祝いと交流を兼ねて参加して参りました。私は今日まで、大迫より南には、行ったことはありませんでしたが、在京東和友会の皆様は、和やかで温かい方々であり限られた時間の中で精一杯、友好を深めて、そろそろ終演に近づいて来た頃、紫波町ふるさと会長と幹事の私の前の席に、在京東和友会の役員で、現在、神奈川県秦野市在住の佐々木茂良様が「紫波町ふるさと会の方とお見合せて参りました。」話し始めました。紫波町にある熊谷牧場をご存じでしょうか？と尋ねられました。そのご、ご息様で盛岡の支援学校で学んでいる時に、「詩」を作り、その支援学校に詩碑があると言う。この方は、現在82歳と名刺に書添てありましたが、若い頃は、支援学校の校長をされていたと言います。佐々木茂良様は、ご自分の名刺に作者の熊谷洋の詩を書いて渡して下さいました。

この詩には

「いつかくる」「きつとくる」「たとえその日は遠くても」「きつとい日やってくる」(作者 熊谷 洋)

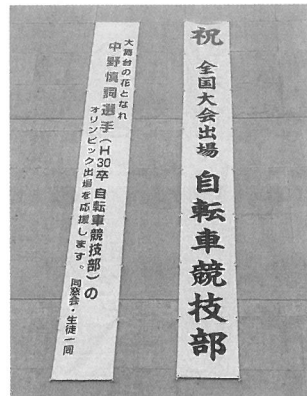
佐々木茂良様は、静岡県の富士山登頂したのは63歳で、その後2012年72歳で富士山登頂に1,000回達成、2022年通算1,404回で現在は腰痛で一服中とあります。私達、懸命に生きる内に、何とか力が湧き起こります。誰かのために、汗を流す。働くにも、歩くにも自分だけが楽しむことは許されない、私たちは、可能性を信じます。



同窓会赤石支部長を拜命して

赤石支部長 高橋 吉見

実は同窓会の赤石支部長としての任務は、まだ理解しておりません!!なのであまり自覚はありません。私は、昭和40年4月入学、43年3月卒業しました。1年生から3年間野球部に所属しておりました。43年4月に東京へ、ひょんなことから空手部にへ入部。現在迄55年間空手道と共に歩み、お陰で47都道府県に足を運ぶことができました。現在は、紫波町総合体育館で週2回の稽古を実施しております。又、26歳の時に上司から詩吟道に誘われて入会し、吟の魅力に取り憑かれ47年目になりました。現在ではオガール交流館2階スタジオで指導させて頂いております。私が在籍していた頃の紫波高校は、普通科、家政科、農業科の3科でしたが、現在の紫波総合高校は、では1, 人文・自然系列 2, エコロジー・フード系列 3, ライフデザイン系列 4, 情報・経済系列 5, 福祉・健康系列と5つの系列が有り、各々選択できます。生徒は目標に応じた系列を選びより具体的に学習が可能となっております。創立90周年も経て、すばらしい高校に発展していると感じております。紫波総合高校卒業の先輩は、各地、各部署ですばらしい働きをしております、そのような方々と、これから同窓会に入会されて御活躍が期待される生徒の橋渡しとなり、地域社会の活性化を促進し、健やかに暮らせる街づくりのためにも支部長として与えられた任務を全うしたいと思います。皆様の御支援、御協力を宜しくお願い申し上げます。



校舎正面の懸垂幕「大舞台の花になれ 手」応援メッセージ 中野慎詞選